

第2版

# EA DataNavi

## インストールマニュアル

株式会社気象データシステム

## 0 本書の記載内容について

本書は EA DataNavi（以降、「本ソフトウェア」）のインストールについての説明を、本書執筆時点の情報で記した、インストールマニュアルです。本ソフトウェアの更新や公開時期などにより画面の構成や表示、操作等が本書の記載と一部異なることもありますが、同様の流れでインストール可能です。本書の記載と本ソフトウェアで大幅な相違が発生する場合には本書は更新されます。

## 1 プログラムの動作環境

本ソフトウェアは、Windows10 での使用を前提に開発され、日本語版 Windows 10 と日本語版 Windows 7 において動作の確認をしています。

動作に必要な最低限の画面の解像度は、1024×768 ドットですが、縦の解像度が 1000 以上で快適に動作します。また、Windows 標準のドット密度(96dpi)で正しく表示されるよう開発されています。そのため、テキスト表示に使用する値を 96dpi より大きく設定している場合、ボタン等に表示されるテキストが一部欠ける場合がありますが、これは本ソフトウェアの不具合ではありません。また、表示が欠けても本ソフトウェアの動作に問題はありません。

本ソフトウェアで使用する気象データは DVD ディスクで提供されています。気象データの読み込みに DVD ディスクドライブが最低 1 台必要です。インストール先のディスクに 150MB 程度の空き容量が必要です

本ソフトウェアは、32 ビット版と 64 ビット版の両方で提供され、ファイルサイズが異なりますが、両者は機能や精度などまったく同じです。

## 2 インストールの手順

### (1) 試用版のアンインストール

EADatNavi の試用版がインストールされている場合は、「3 アンインストールの手順」にしたがって、試用版をアンインストールしてください。

### (2) インストールプログラムの選択と起動

購入したプログラムディスク(DVD)をディスクドライブに入れます。DVD を開くと、「PRO」フォルダがあるので、「PRO」フォルダを開きます。「PRO」フォルダには、以下の 2 つのインストールプログラムが収められています。

- ・「EADatNavi-setup\_x86」
- ・「EADatNavi-setup\_x64」

それぞれ、基本操作プログラムの 32 ビット版(x86)と 64 ビット版(x64)の同じプログラムです。ユーザが利用する OS にあわせて選択します。わからない場合は 32 ビット版を選択してください。また、インストール先の空き容量に不安がある場合にも 32 ビット版を選択してください。

選択したインストールプログラムをダブルクリックするとインストールプログラムが起動します。

### (3) インストールプログラムの起動

図1のように“ようこそ”の画面が表示され、インストールプログラムが起動します。“次へ”を左クリックして「(3) 使用許諾契約の確認」に進みます。



図1 インストールプログラムの起動画面

### (4) 使用許諾契約の確認

図2のように使用許諾契約の内容が示されます。必ず内容を最後まで確認してください。

内容に同意された場合は、“上記の製品使用許諾契約に同意いたします。”を選択して“次へ”を左クリックします。すべてデフォルト設定であれば“インストール”をクリックすると即座にインストールが始まり、次は「(7) インストールの終了」となります。

使用許諾に同意されない場合はインストールを続行できませんので“キャンセル”を左クリックしてインストールを中止し、終了してください。

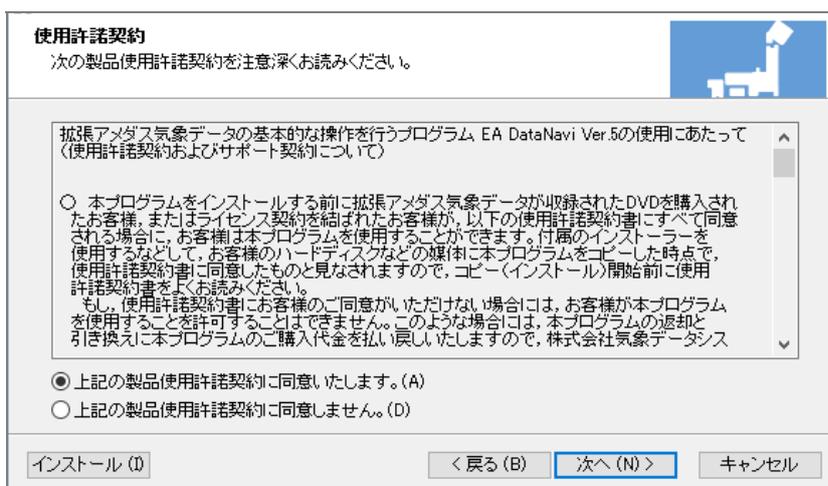


図2 使用許諾契約の確認画面

## (5) インストールタイプの選択

図3のように「**インストールタイプの選択**」のウィンドウが表示されます。

「現在のユーザのみ」を選択すると、現在使用しているユーザーアカウントだけの使用が可能です。「本PCの使用者全員」を選択するとコンピューターを利用するすべてのユーザーアカウントにインストールされます。通常は「**現在のユーザのみ**」の選択が適切です。選択後、「**次へ**」を左クリックします。

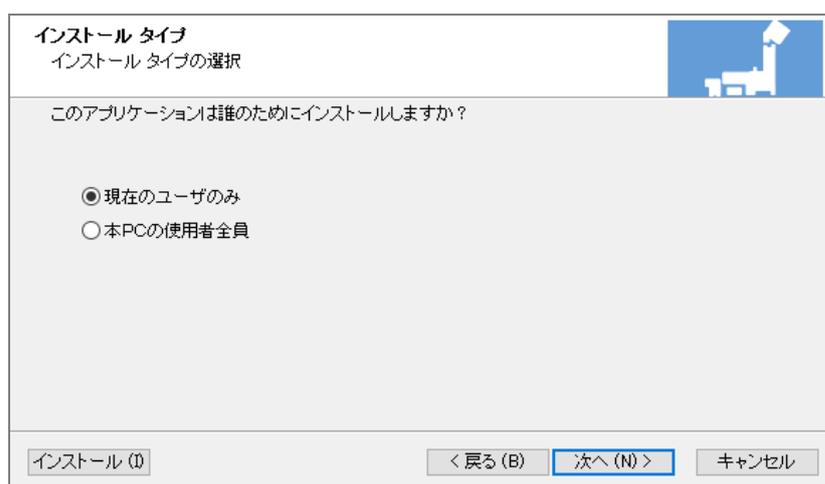


図3 インストールタイプの選択画面

### ■注意してください■

必ず使用許諾契約に基づいた内容を選択してください。

パッケージ版を購入した場合は、契約により

「1名のユーザが1台のコンピューターで使用すること」となっています。

そのため「現在のユーザのみ」を選択してインストールします。

もし複数のユーザで使用する、あるいは複数のコンピューターで使用する和使用許諾契約違反となりますので注意してください。その場合は、ユーザの数、あるいはコンピューターの数だけパッケージを購入するか、株式会社気象データシステムとライセンス契約を結んでください。

ライセンス契約を結んで使用する場合や、複数のパッケージを購入して同じPCで使用する場合にのみ「本PCの使用者全員」を選択します。

#### (5) インストール先を選択

図 4 のようにプログラムをインストールするディスクドライブとフォルダを指定します。デフォルトでは Windows のプログラムフォルダ(“C:¥Program Files”または“C:¥Program Files (x86)”)の直下の “¥MDS¥EADatNavi6” になっています。インストール先を任意に指定する場合は、“参照”を左クリックし、ハードディスクドライブやディレクトリを指定します。インストール先を決定した後、“次へ”を左クリックします。

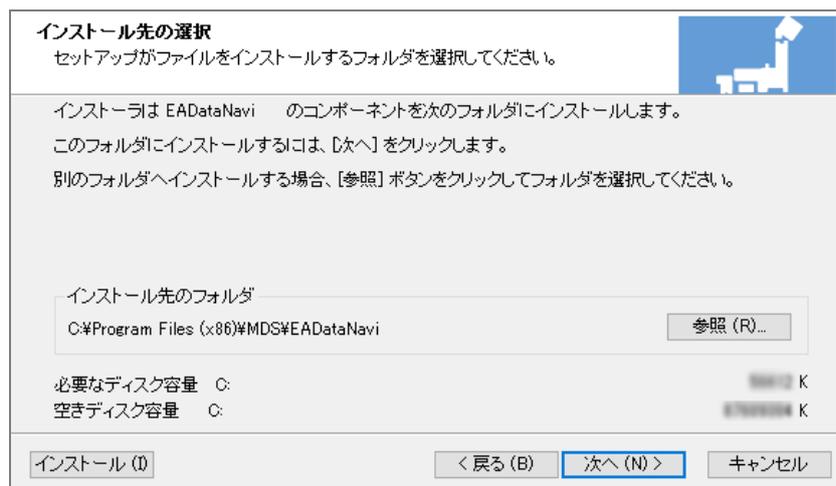


図 4 インストール先の選択画面

## (6) プログラムフォルダの選択

図 5 のように“プログラムフォルダの選択”というウィンドウが表示されます。プログラムフォルダとは、Windows のスタートメニューの“すべてのアプリ”サブメニューとしてリスト表示されるフォルダのことです。デフォルトでは“MDS¥EADDataNavi6”となっていますが、任意のフォルダ名に変更することができます。

必要に応じてフォルダ名の設定が終了してから、“次へ”を左クリックします。

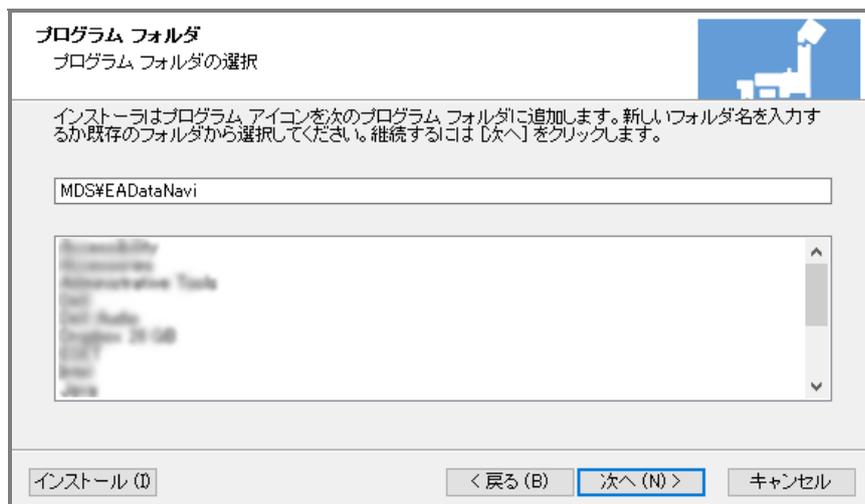


図 5 プログラムフォルダの選択画面

## (7) インストール設定情報の確認とファイルコピーの開始

図 6 のように、これまでの入力情報(インストール先フォルダ, プログラムフォルダ)が表示されます。問題がなければ、“次へ”を左クリックし、ファイルコピーを開始させます。修正する場合は、“戻る”を左クリックしてください。

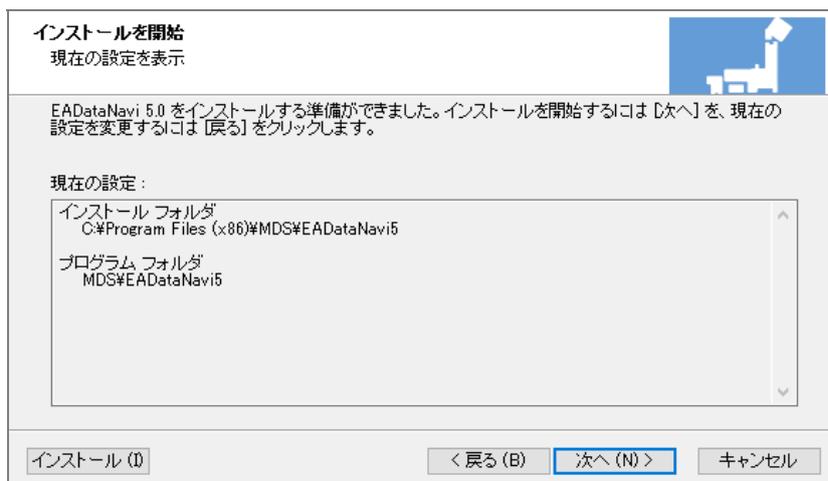


図 6 インストール設定情報の確認画面の例

## (8) インストールの終了

ファイルコピーが終了すると、“インストールが完了しました。”という図 7 のような画面が表示されます。ここで“完了”ボタンを左クリックすれば、インストールプログラムが終了し、インストール作業が終了します。

このとき、“EADDataNavi の開始”にチェックがついていると、すぐに EADDataNavi が起動します。シリアルナンバーの入力等をあとで行いたい場合はチェックを外してください。

また、このあと意図せず EADDataNavi が起動してしまった場合は、シリアルナンバー入力の画面(図 8)で“Cancel (キャンセル)”を選んでプログラムを終了させてください。

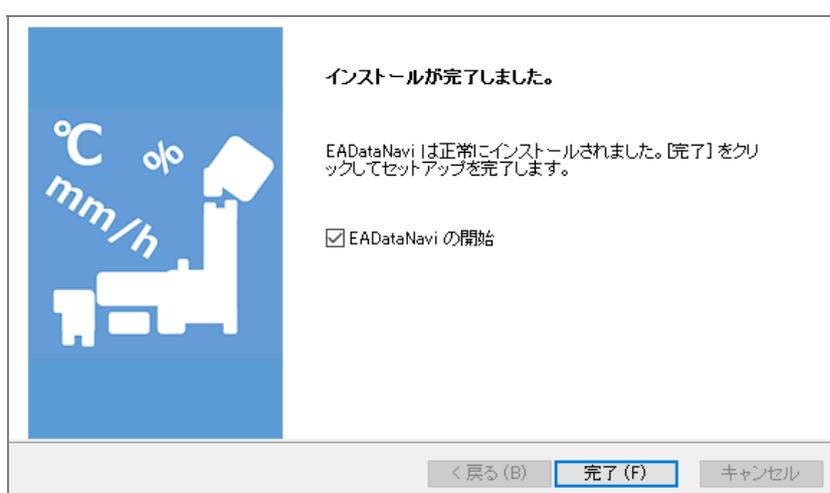


図 7 インストール完了通知画面

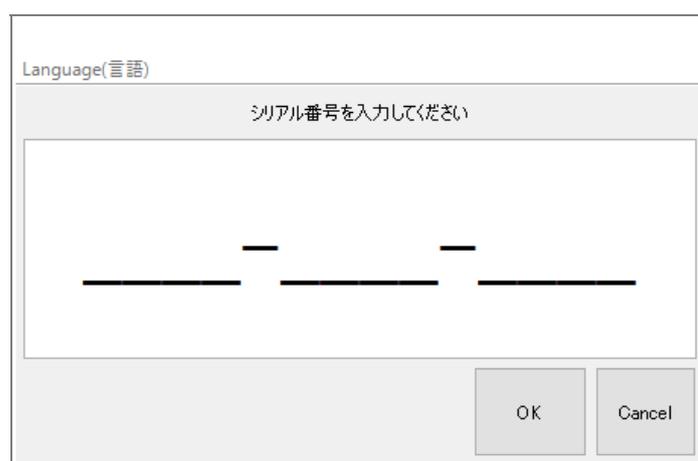


図 8 EADDataNavi シリアル番号入力画面

## (9) ソフトウェア起動の確認

### Windows 8.1 以降の場合

画面左下の Windows ボタンを押すと「最近追加されたもの」に EADaNavI が表示されます(図 9)。また、「すべてのアプリ」を選ぶと「M」の項目に「MDS」フォルダが表示され、その中に EADaNavI が登録されているのが確認できます(図 10)。

起動するには EADaNavI の表示をクリックしてください。

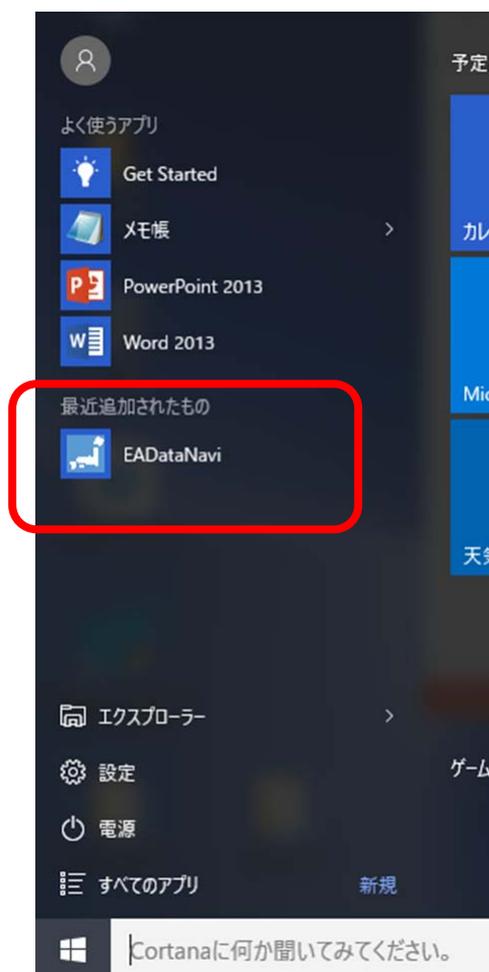


図 9 「最近追加されたもの」(Windows10)

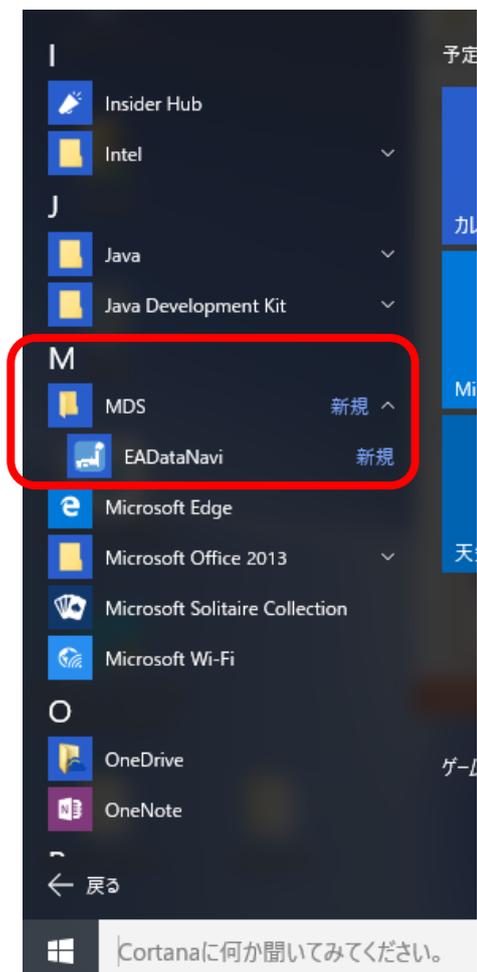


図 10 「すべてのアプリ」(Windows10)

以降、同様に起動できますが、EADaNavI に簡単にアクセスしたい場合には、EADaNavI の表示の上で右クリックして「スタート画面にピン留めする」などして(図 11)、スタート画面のお好みの位置に配置してください。これについては Windows の持つ機能になりますので、詳しくは Windows の解説書等を参考にするか、マイクロソフトにお問い合わせください。

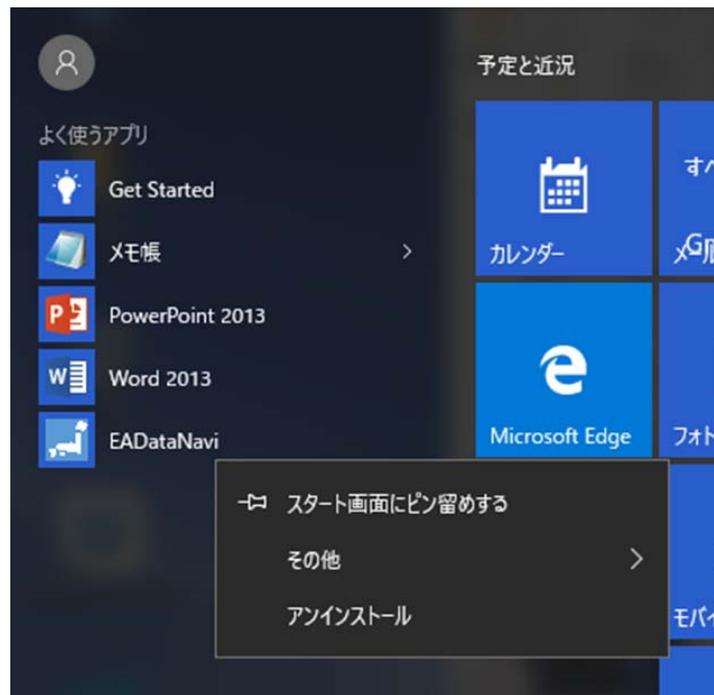


図 11 右クリックメニュー(Windows10)

#### Windows 8 の場合

基本的に Windows8.1 以降と同様です。Windows8 では、Windows ボタンを押すとメニューは表示されずスタート画面になりますので、「すべてのアプリ」から「M」の項目で「MDS」、「EADDataNavi」へアクセスできます。必要に応じて「スタート画面にピン留めする」などしてください。

#### Windows 7 の場合

図 12 のように、インストールしてしばらくはスタートメニューに“EADDataNavi”が表示されます。また、「すべてのプログラム」の「MDS」の中に“EADDataNavi”が登録されているのが確認できます(図 13)。起動するには“EADDataNavi”の表示をクリックしてください。

以降、同様に起動できますが、EADDataNavi に簡単にアクセスしたい場合には、後者(「すべてのプログラム」の「MDS」の中)の EADDataNavi の表示(図 13)の上で右クリックして「**送る**」を選択し「**デスクトップ(ショートカットを作成)**」を選ぶと、デスクトップに EADDataNavi へのショートカットが作成されますのでそこから起動可能になります。ショートカットの作成については Windows の持つ機能になりますので、詳しくは Windows の解説書等を参考にするか、マイクロソフトにお問い合わせください。



図 12 「最近使用したプログラム」(Windows7)



図 13 「すべてのプログラム」(Windows7)

### 3 アンインストールの手順

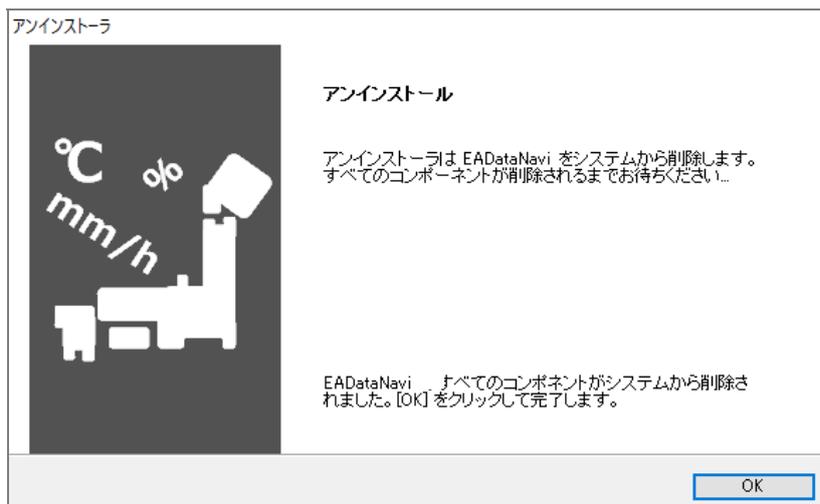


図 14 アンインストーラー

EADatavari は、Windows における標準的な方法でアンインストール可能です。次に代表的な操作例を示します。この操作後、図 14 のような表示になり、アンインストールが完了します。

## Windows 8.1 以降の場合

ここでは、2つの方法を紹介します。

### 方法 1

- (1)ソフトウェア起動の確認の項でスタート画面にピン留めするときと同じ要領で、本ソフトウェアのアイコン上で右クリックして、「**アンインストール**」を選択します(図 11)。
- (2)インストールされているプログラムの一覧が表示されるので、本ソフトウェアを選択し、**ダブルクリック**するか、「**アンインストールと変更**」ボタンを左クリックしてください。

### 方法 2

画面左下の Windows ボタンを押すと表示されるメニューから「**設定**」をクリックして表示される設定ウィンドウから「**システム**」を選択します。その後ウィンドウの左側から「**アプリと機能**」を選び、右側に表示されるアプリ一覧のなかから本ソフトを探し、クリックして表示される「**アンインストール**」ボタンをクリックします。

## Windows 8 の場合

基本的に Windows8.1 以降と同様になります。

## Windows 7 の場合

- (1)スタートメニューから「**コントロールパネル**」を開きます。
- (2)コントロールパネルの表示が「**カテゴリ**」表示の場合は、  
「**プログラムのアンインストール**」をクリックします  
コントロールパネルの表示が、「**アイコン**」表示の場合は、  
「**プログラムと機能**」のアイコンをクリックします。
- (3)インストールされているプログラムの一覧が表示されるので、本ソフトウェアを選択し、**ダブルクリック**するか、「**アンインストールと変更**」ボタンを左クリックしてください。